



seven セブン工業株式会社

Seven Industries co.,Ltd.
Company brochure



SEVEN INDUSTRIES CO.,LTD.



伝えたい

届けたい Wood idea

木と生きる 木を活かす 人と木が奏でる素敵な未来へ セブン工業の想いです。



「人々に快適さをもたらす商品を、真心こめて作り出す。」

これは当社が社是に掲げる一節です。私たちはこのことを常に念頭においております。

木質建材メーカーとして、集成材製造のパイオニアとして、創業以来当社は進化してまいりました。

そして「お客様に快適さをもたらす」ために、木材という素材を用いて

今現在も常に研究努力を重ねております。

木材とは、生活空間において、自然のぬくもりや安らぎをもたらしてくれる素材です。

その役割は、これからの世の中で益々欠かせぬものになっていくのではないのでしょうか。

お客様のニーズにお応えするために何をすべきか。私たちは日々追求しております。

絶え間なく変化していくセブン工業に、どうぞご期待ください。

木下浩一





社是

真実と努力

人々に快適さをもたらす商品を
真心をこめてつくりだし
適正価格で敏速に
お客様に届け利益を上げる
その為に
同業のどこの社員よりも
常に研究努力を重ねて
苦難にも耐えぬこう
セブングループ全員が
誰よりも豊かで幸せになる為に

行持報恩

全員がプロになるう
プロとアマの差は
仕事の出来ばえとスピードである
プロになることで
仕事を通じて社会に貢献しよう
それが人間として生まれ
この世の恩に報いる道である



木構造

内装



セブン工業では「快適な住空間」をトータルで実現するため、あらゆる木造建築を創造する様々な規模の「木構造」事業と、暮らしに寄り添う階段やカウンターなどの「内装」事業の2つの事業を展開しています。

人にぬくもりや安らぎを与えてくれる木材。私たちセブン工業は、そんな木材の可能性を信じ、木質建材メーカーとして、集成材のパイオニアとして、快適な生活空間を創造します。「人々に快適さをもたらす商品を、真心こめて作り出す。」これからも「木材の可能性を追求した新たな商品づくり」に挑戦していきます。

CSR 活動

地球環境との共生を目指して、環境マネジメントシステムを確立し、かけがえない地球環境を汚染しないために、CSR(企業の社会的責任)に取り組んでいます。再生可能資源の木材を使用し社会に貢献しようとする経営理念のもと、永続的に発展する企業とするため確固たる内部統制システムを構築するとともに、コンプライアンスを最優先する企業活動を推進しています。



地球環境配慮

- ・集成材は木材の有効利用
- ・森林認証の取得
- ・環境マネジメントシステム ISO14001を取得
- ・環境調和型商品の創出
- ・環境負荷化学物質の適切な管理
- ・CO₂排出量、電力使用量及び産業廃棄物処理費用 年1%削減



品質管理

- ・品質月間への積極的な取り組み
- ・品質へのこだわり「健康を配慮した安全な製品」の提供
(F☆☆☆☆の放出量規制をクリア)
- ・品質マネジメントシステム ISO9001を取得
- ・グリーンウッド法に対応する第二種登録木材関連事業者の登録
- ・JAS構造材利用拡大事業への取組み



コーポレート
ガバナンス

- ・適切な企業統治と情報開示
- ・内部統制システムの構築
- ・公正・透明性
- ・誠実な消費者対応
- ・誠実な取引先との関係



地域社会貢献
地域との連携

- ・従業員の地元採用を重視
- ・工場見学会の開催
- ・地域の子どもたちに向けたワークショップ(DIY)開催
- ・献血活動
- ・工場周辺地域の清掃活動



働きがいと成長

- ・ワークライフバランス推進企業
- ・クラブ活動
- ・懇親会補助制度
- ・メンター制度導入

地球環境との共生

人と環境にやさしい 生活空間の創造

環境方針

- 1.事業活動に関して、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音及び振動などによる環境汚染の予防管理に努めます。
- 2.製品の製造に関わる廃棄物・有害物質の排出量の削減など環境負荷の低減と、省資材・省エネルギーの日常管理と改善による効率化を推進します。
- 3.環境関係の法規制・条例等の要求事項を遵守するとともに環境保全のレベルアップを図ります。
- 4.環境方針を実現するため環境目的・目標を定め、その実施状況を定期的に評価・見直しをして、継続的な改善を行います。
- 5.環境方針は社外からの求めに応じて公開し、より良い環境を目指すとともに地域社会との共生を図ります。



品質へのこだわり

当社は2000年1月にISO9001を認証取得しております。顧客満足に応えるため、様々な情報を製品に反映し提供するプロセスを大切に、また継続的に改善していくことを忘れず、日々努力しております。「顧客の最大の満足と安心」を提供し続けます。



環境へのこだわり

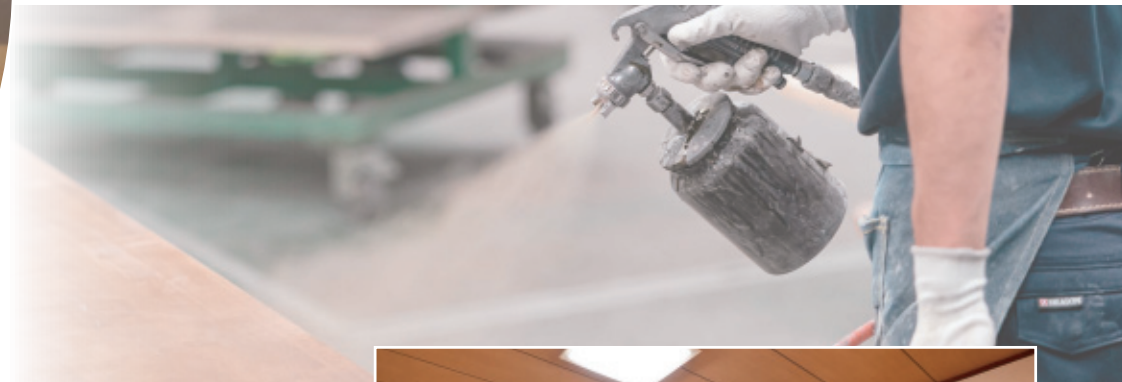
当社は2004年4月にISO14001を認証取得しております。わたしたちは、国産材の積極的な有効利用・活用により、山に活力を与え、森林の再生、治山治水にも貢献する企業を目指しています。また、地球温暖化対策にも積極的に取り組んでまいります。





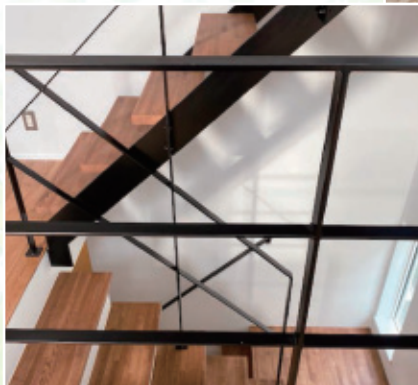
人と環境に優しい住空間をめざして

セブン工業は、集成材のリーディングカンパニーとして、人と環境にやさしい「快適商品の創造」と「快適住空間の創造」を実現してまいります。



STYLISH Wood idea DESIGN

住宅の多様化、個性化に伴うトレンドの変化や、省施工・環境性能・耐震性といったニーズに対応するため「変化と連携」をキーワードに、内装建材事業と木構造建材事業が持つ、それぞれの卓越性の発揮と2つの事業の融合によるシナジーの追求を進めてまいります。



木と生きる 木を活かす 人と木が奏でる素敵な未来へ

大型施設から一般住宅まで木造躯体をトータルに提供

トータルサポート 計画から施工まで

木造事業に対してのご提案から、構造計算・プレカット・納材から現場施工・施工管理まで、設計事務所様・建設会社様をトータルにサポート致します。



金物工法

日本人に長く愛され続けている「木の家」。従来の木造軸組工法は、柱などをくりぬき、そこに先端を細くした梁を組み合わせるなどするため、木材の欠損部分が大きくなり、地震の揺れなどが心配でした。この弱点を改良する金物工法は、接合金具を使用して、木材の断面欠損部分を最小限に抑えながらしっかりと軸組みを固定します。それにより木が持っている本来の力が十分発揮され、きわめて耐震性に優れているため、日本には適した工法として広く普及しています。



2×4パネル (木造枠組壁工法)

木造枠組工法(ツーバイフォー工法)は、4面の耐力壁と床・天井で構成する6面体のモノコック構造をベースにして住宅を建設する工法/構造です。高強度の合板を規定の釘打ちによって接合し、面的な壁や床を作ります。箱状の空間とすることで高い耐震性・耐火性・断熱性・気密性・防音性をもっています。



在来工法用パネル

在来工法(木造軸組工法)に壁用パネルや屋根用パネルを付加することにより、より高品質かつ省力化な住宅建築が可能となります。

セブン工業では在来工法用パネルに断熱材の取り付け、サッシの取り付けなどを行い施工精度の向上/建築現場省施工/建築現場廃棄物削減/建築工期短縮などに貢献します。

在来工法 (木造軸組工法)

在来工法とは、「木造軸組工法」とも呼ばれ、日本に伝わる伝統的な工法で、基礎に土台をのせて柱を立て、梁などの水平な材を渡して骨組みをつくる構造。

現在では精密に機械加工された木材や木材同士の接合に補強金物が採用されるようになり精度のばらつきはほとんどなく高品質なものとなっている。

また近年では接合部に専用金物を用いることで、より強度を増すことが可能となっている。



特殊加工にも対応!



大型汎用加工機フンデガーK2iMAX



セブン工業株式会社

沿革

- 1961年 2月 (昭和36年) 丸七白川口市売木材(株)を設立し、東洋林業(株)東洋木材市場の浜問屋として木材市売業を開始
- 1976年 10月 (昭和51年) (名)丸七白川口製材所(現、(株)丸七)から、同社が昭和41年4月に生産開始した集成材の営業権を譲受、集成材の生産を開始 丸七住研工業(株)として発足
- 1989年 5月 (平成元年) 岐阜県美濃加茂市に美濃加茂第一工場を建設
- 1990年 4月 (平成 2年) セブン工業(株)に商号変更
- 1991年 5月 (平成 3年) 名古屋証券取引所第二部に上場
- 1992年 5月 (平成 4年) 岐阜県美濃加茂市に美濃加茂第二工場を建設
- 1993年 6月 (平成 5年) 丸七ミヤマ工業(株)の株式を追加取得し、子会社とする
同工場を買取り、美濃加茂第三工場とする
- 1996年 6月 (平成 8年) 本店を岐阜県美濃加茂市に移転
- 1997年 5月 (平成 9年) 美濃加茂物流加工センターを建設(現、美濃加茂第四工場)
- 2000年 3月 (平成12年) 東京証券取引所第二部に上場
- 2004年 3月 (平成16年) 当社の株式を公開買付けにより、住友商事(株)が議決権の所有割合50.7%を取得(現、議決権の所有割合20.6% 主要株主)
- 2004年 4月 (平成16年) 美濃加茂市に資材物流センターを建設
- 2015年 2月 (平成27年) 住友商事(株)が保有していた当社株式の一部を都築木材(株)(議決権の所有割合16.0% 主要株主)及び、西垣林業(株)(議決権の所有割合14.0% 主要株主)へ譲渡
- 2017年 3月 (平成29年) CAD設計積算を主な事業としたベトナム企業である
S.E.V.E.N-VIET INDUSTRIES JOINT STOCK COMPANYの株式取得(資本金 60億VND 当社資本比率39.9%)、同年6月に
J-VIET JOINT STOCK COMPANYに商号変更
- 2017年 9月 (平成29年) 非住宅分野への事業領域の展開、建装事業の拡充を図るため、大規模・中規模物件の多種多様な部材加工が行える大型汎用加工設備「フンデガーK2i MAX」を美濃加茂第四工場に設置

NETWORK



本社

本 社 〒505-0016 岐阜県美濃加茂市牧野1006番地 TEL 0574-28-7800(代)

営業所・事務所

東京営業所	〒164-0012 東京都中野区本町2丁目2番2号 YSビル8F	TEL 03-6859-0700(代)
中部営業所	〒505-0016 岐阜県美濃加茂市牧野1006	TEL 0574-24-7781(代)
大阪営業所	〒579-8027 大阪府東大阪市東山町5丁目8番龍野ビル4F	TEL 072-988-5320(代)
九州営業所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目27-25 第2岡部ビル6F B号室	TEL 092-260-9617
東北事務所	〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町13-18 ステーションプラザビル 707号室	TEL 022-217-6465
浜松事務所	〒435-0038 静岡県浜松市南区三和町295-1グリーンパーク101	TEL 053-411-0701
長野事務所	〒390-0852 長野県松本市島立990-1	TEL 0263-47-8516
木構造建材営業部	〒505-0016 岐阜県美濃加茂市牧野1011	TEL 0574-24-1916
建装課	〒505-0016 岐阜県美濃加茂市牧野1011	TEL 0574-28-7851

工 場

七宗第一工場	〒509-0403 岐阜県加茂郡七宗町中麻生1080	TEL 0574-48-2115(代)
七宗第二工場	〒509-0403 岐阜県加茂郡七宗町中麻生1107	TEL 0574-48-2117(代)
七宗第三工場	〒509-0403 岐阜県加茂郡七宗町中麻生910	TEL 0574-48-1888(代)
美濃加茂第一工場	〒505-0016 岐阜県美濃加茂市牧野1011	TEL 0574-27-2345(代)
美濃加茂第二工場	〒505-0016 岐阜県美濃加茂市牧野1011	TEL 0574-24-2561(代)
美濃加茂第三工場	〒505-0016 岐阜県美濃加茂市牧野1011	TEL 0574-24-1916(代)
美濃加茂第四工場	〒505-0016 岐阜県美濃加茂市牧野1011	TEL 0574-24-1916(代)
資材物流センター	〒505-0016 岐阜県美濃加茂市牧野字五本松1530-1	TEL 0574-24-7775(代)
神 測 工 場	〒509-0511 岐阜県加茂郡七宗町神測10229-3	TEL 0574-46-0130



七宗工場



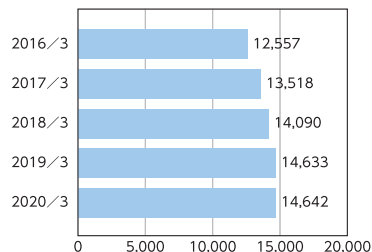
美濃加茂工場



資材物流センター

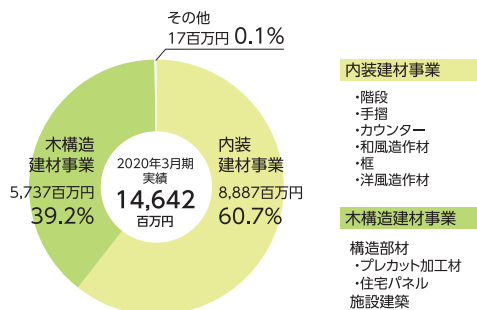
売上高推移

(単位:百万円)



売上高構成比

2020年3月期実績



■会社名／セブン工業株式会社

■事業内容／集成材を利用した住宅部材の製造販売及び付帯事業

■本社所在地／〒505-0016 岐阜県美濃加茂市牧野1006番地

TEL 0574-28-7800(代) FAX 0574-28-1630

<http://www.seven-gr.co.jp>

■設立／1961年2月

■資本金／2,473百万円

■売上高／14,642百万円(2020年3月期実績)

■役員／【取締役会長】都築 寛明

【代表取締役社長】木下 浩一

【常務取締役】梅村 誠司

【取締役】横井 勝／山北 耕介／阿部 克哉／西垣 貴文

【監査役】阿部 正義／串田 正克／稲越 千束

■主要株主／住友商事(株)・都築木材(株)・西垣林業(株)

■取引銀行／(株)大垣共立銀行・(株)十六銀行・(株)三井住友銀行・(株)みずほ銀行・(株)三菱UFJ銀行

■従業員数／400名

主な事業内容等

内装建材事業

【七宗第一工場】

階段事業 (突き板貼り階段・上り框)

〈生産量〉

■階段 約500セット／月 ■塗装上り框・巾木 約8,000本／月

・シート貼り及び銘木突き板貼り製品が主体

【七宗第三工場】

階段事業 (シート貼り階段) (2012年より生産開始)

〈生産量〉

■シート貼り階段 約4,000セット／月

・独自の生産方法により他社では対応が難しい一品生産体制を確立
・プレカット対応も充実しており短納期での現場配送も可能
・2016年度よりオリジナルカラーのシートを設定し自社販売の増強を図っている

【神測工場】

階段事業 (集合・分譲住宅向け階段材の全国デリバリー及びフローリングのプレカット事業) (2019年より生産開始)

〈生産量〉

■階段デリバリー 約1,300セット／月 ■フローリングプレカット 約200坪／月

・近隣地区への自社配送も可能

【美濃加茂第一・第二工場】

階段事業 (集成階段・手摺部材)

〈生産量〉

■階段 約3,500セット／月

・受注生産体制での一品対応を基本とし短納期で現場配送に対応
・あらゆる色調に対応、省施工加工にも注力
・生産比率 OEM:当社ブランド=1:1

造作材事業 (カウンター)

〈生産量〉

■カウンター 約30,000枚／月

・完全受注生産で様々な色調・形状に対応
・簡単な発注システムでオーダーメイドも短納期で現場配送が可能

【七宗第二工場】

造作材事業 (和風造作材・玄関造作材)

〈生産量〉

■造作材 約30,000本／月 ■シート框・階段、巾木等 約10,000本／月

・ヒノキ突き板貼りを主体とした従来からの和風造作材生産

木構造建材事業

【美濃加茂第三工場】

パネル事業 (木軸・2×4用内装パネル生産及び羽柄材・合板加工)

〈生産量〉

■羽柄材・合板加工品 約230棟分／月

■2×4用パネル 約1,800坪／月

■その他軸組用パネル 約1,000坪／月

・2012年より2×4用パネルの生産開始、軸組みパネルと共にパネル事業の拡大

・中部圏のパネル供給基地として木構造建材事業の多角化を推進

【美濃加茂第四工場】

プレカット事業 (SE・SNプレカット及び特殊加工(木軸加工～建て方))

〈生産量〉

■約8,000坪／月 (約230棟分)

・集成材を中心とした土台・梁桁の加工及び建て方までの事業推進(年間約250棟)

・一般住宅から非住宅まで、在来から金物、特殊工法まで幅広い木軸材を供給

・県産材(国産材)の積極的な活用

・教育施設、老健施設などの設計提案から建て方まで行なう建築事業の展開

・フンデガーK2iの導入により大断面集成材、CLTなどの特殊加工にも対応

【資材物流センター】

輸入材管理

敷地／ 22,455 ㎡

建屋／ 12,246 ㎡

・集成階段・カウンター用基材 (ゴム・タモ)

・木軸集成材用ラミナ・製品用基材 (ホワイト・レッド等)

セブン工業

検索

<http://www.seven-gr.co.jp/>



Instagram

